

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：舞鶴市

プロジェクト名	RED(赤れんが)とBLUE(海・港)が織りなす舞鶴活性化プロジェクト	実施期間	平成27～30年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>海の京都の戦略拠点に指定する「赤れんが倉庫群」は、明治から大正期にかけて旧日本海軍により整備。平成20年に国の重要文化財に指定され、本市が全国に誇れる貴重な近代化遺産であり、重要な資源であることから、赤れんがパークとして整備を行っているところである。（海の京都構想と連携）</p> <p>また、本市では、戦後13年間にわたり、「引き揚げのまち」として大陸、シベリアから引き揚げてこられた方々を暖かく迎え入れ、自分達の苦しい生活を顧みず、出迎えや湯茶の接待、慰問など全市民をあげて取り組んだ経過があるが、戦争を知らない世代が増える中、引き揚げの歴史は過去の出来事として徐々に風化しつつある。そのため、我が国の戦後の発展に果たした社会的役割を次の世代に語り継ぐとともに、平和の尊さを広く発信することが求められている。</p> <p>さらに、天然の良港と呼ばれる京都舞鶴港は、平成23年11月には国土交通省から日本海側拠点港に選定され、関西圏唯一の日本海側ゲートウェイとしての必要性・重要性が高まっていることから、大型クルーズ客船の誘致によるインバウンド観光など、京都舞鶴港を活かした地域活性化策に積極的に取り組んでいる。（京都舞鶴港ランドブリッジ構想と連携）</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>平成27年度は、引揚第1船「雲仙丸」が舞鶴港に入港してから、70年目を迎える節目の年であり、ユネスコ世界記憶遺産登録推進や舞鶴引揚記念館のリニューアルオープンと合わせて、「風化しつつある引揚の史実の継承と平和の尊さをより広く国内外へ発信する。</p> <p>また、京都舞鶴港については、高速道路網の延伸、舞鶴国際ふ頭の供用、重点港湾の指定、日本海側拠点港の選定等、京都舞鶴港が持つ様々な優位性を活かし、物流・人流の活性化や国内外との貿易量の拡大に取り組むとともに、港の賑わいを創出することにより、東アジア地域や国内諸地域の活力の積極的な導入による産業の振興を目指す。</p> <p>さらに、京都縦貫自動車道の全線開通を好機と捉え、「赤れんが」と「海・港」を中心に舞鶴の豊富な地域資源を活かし、「赤れんがパーク」を観光拠点に交流人口の増大と地域の活性化を目指す。</p>						
	総事業費（千円）	1,948,100	本年度事業費（千円）	487,025	交付金額（千円）	52,652	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
	赤れんが観光戦略拠点化事業	交付対象事業	赤れんがパークのブランディング（「DRUM TAO」特別野外公演等の実施によるブランドイメージの確立）、赤れんがパーク各種イベントの実施・情報発信など		パークにおいて、統一されたブランディング戦略のもと、DRUM TAO特別公演（開催日：8/1 来場者数：817名）やプロジェクトマッピング（開催期間：7/18～26 来場者数：7,060名）等、発信力の強いイベントを実施したことで、施設イメージと知名度の向上につながり、前年度比1.1倍と多くの来場者が訪れた。		
	観光産業振興事業	交付対象事業	観光産業の促進に向けた意欲ある民間事業者の取組の支援、地域ブランドのプロモーション活動、着地型観光の推進、外国人観光客誘客プロモーション、海軍ゆかりの観光遊覧船の運航、「まいづるまち博」の開催、周遊観光バスの運行支援、「海の京都」による観光推進など		全国に向けた舞鶴ブランドのプロモーション活動（首都圏・阪神圏・東海圏）の実施、観光誘客パンフレットのるぶの作成（50,000部）、岩がき等地域ブランドのPR活動、まいづる地場産市場の開催（11/15開催）、海軍ゆかりの港めぐり遊覧船運航（実績15,284人）外国人観光客の誘致にかかるパンフレットの作成及びホームページの多言語化等海外向け情報発信の強化など。平成27年観光入込客数約2,290千人。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：舞鶴市

市町村 実施事業	世界記憶遺産登録推進事業	交付対象事業	風化しつつある引揚げ史実の継承と平和の尊さを発信するため、ユネスコ世界記憶遺産登録を推進	<p>（引揚の史実継承事業） 舞鶴引揚記念館教育旅行誘致（新規受入校5校）、世界記憶遺産有識者会議の開催等、語り部養成講座の開催（12/19～3/19、12講座、受講者17名、講座修了者14名）</p> <p>（引揚記念館整備事業） 戦争を知らない世代に対応した展示の全面リニューアル、セミナールームの増築、トイレの改修、玄関口の付け替え、老朽化した施設の改修など（工事期間：H26.12～H27.9）</p> <p>・リニューアルオープン（9/28）</p> <p>（記憶遺産プロモーション事業） 世界記憶遺産登録セレモニー（10/10）、世界記憶遺産登録記念公開講座（2回）、世界記憶遺産登録に向けた各種メディア情報発信、プロモーション映像製作など</p> <p>（海外引揚70周年記念事業） 海外引揚70周年記念 音楽劇「君よ生きて」開催（プレビュー公演（4/19）、ワークショップ（7/3）、舞鶴公演（7/4～7/5 4回））、戦後70年・海外引揚70周年平和祈念式典（10/10）</p>
	京都舞鶴港を活用した人流拡大事業	交付対象事業	大型クルーズ客船の誘致活動及び寄航対応	大型クルーズ客船入港にかかるおもてなし事業（来訪者数延べ8,000人以上）や京都舞鶴港発着クルーズの実施（8回）、クルーズフォトコンテストの実施
	地方創生拠点整備事業	関連事業	防衛省の補助事業を活用し、海上自衛隊との連携のもと、赤れんがパークに隣接する防衛省用地（通称：三角地）を含む赤れんがパーク周辺から、しおじプラザ周辺エリア一帯の今後の活用等に係る「まちづくり基本構想」を策定。	「赤れんが周辺等まちづくり構想」（平成28年3月）の策定
	舞鶴記憶遺産ブランドプロモーション事業	関連事業	全国メディアへの情報発信や巡回展の開催等によるプロモーション活動の展開 国内外からの収集資料の照会や貸し出し依頼に対応する記憶遺産紹介パネルや、冊子等の制作 貴重な資料の保存活用に資するレプリカ制作の推進 来館者対応の強化	「舞鶴引揚記念館」特別巡回展の開催（12/25～12/27）、世界記憶遺産登録資料レプリカ制作、世界記憶遺産登録決定後来館者対応強化、舞鶴引揚記念館展示図録制作、世界記憶遺産登録資料図録制作など
	赤れんがパーク「歴史遺産」展示機能充実事業	関連事業	赤れんがパーク2号棟、3号棟等の展示機能・展示内容の充実	赤れんが2号棟に、縄文丸木舟をテーマにした展示コーナーを、赤れんが3号棟に、観光客向けの「旧海軍ゆかりのまち舞鶴」を紹介する展示コーナーを新設し、来訪者の滞在時間の延長につなげた。
	赤れんがパーク芝生広場賑わいづくり事業	関連事業	パーク内海側芝生広場において、ステージイベント用音響・照明電源・キッチンカー用電源設備等を整備	パーク海側海側芝生広場に新設したイベント用電源設備を使用し、野外イベントやキッチンカー営業を頻繁に行った。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：舞鶴市

	海の京都観光推進協議会負担金	関連事業	「海の京都博」の開催 日本最大のウォータープロジェクトショーを実施を皮切りに7月中旬～11月中旬にかけて、北部5市2町エリアそれぞれの特色を活かした拠点コアイベントを実施。	「海の京都博」の開催 開催期間：7月18日～11月15日 府北部5市2町の入込客数：約500万人
	スポーツトレイル事業推進協議会負担金	関連事業	由良川・大江山 SEA TO SUMMIT 2015の開催	開催日：10/3～4 参加者実績：74組107名
	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業	関連事業	「日本海側拠点港」選定を契機に、既存航路の活性化並びに新規航路の開拓に一層取り組むほか、客船クルーズ誘致に向けたポートセールスや旅行社等と連携した新規観光ルートの開発等を実施	日本海側拠点港の機能別目標の早期実現に向けたプロモーション事業等の実施（韓国への経済ミッションの派遣、国際フェリートライアルの実施等）
	京都舞鶴港振興会等補助	関連事業	一般社団法人京都舞鶴港振興会が行うポートセールス活動等への補助	
住民協働事業	赤れんが文化創造・交流事業	交付対象事業	赤れんがパークで行われる市民主体の賑わい創出活動への支援、FMを活用した情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・赤れんがフェスタ in舞鶴2015 (開催日：10月24～25日 来場者 約41,000名) ・田主誠心の旅版画館 (開催日：10月30日～11月23日 来場者3,546名) ・アートワークショップ (開催日：5月2日～3日 来場者4,333名) ・赤れんがパークライトアート (開催日：11月19日～2月28日) など ・エフェム京都 SUNNYSIDE BALCONY 「Wind of Maizuru」 コーナー毎週木曜日12時40分～12時50分)で舞鶴の魅力発信
	対岸諸国との交流拡大事業	交付対象事業	市内企業の国際展示会出展支援、姉妹・友好都市交流、市民による文化交流支援、国際交流員の配置等	第28回大連国際マラソン大会参加事業（選手など3名を派遣）、大連市政府代表団受入事業（10名）、第26回大連アジア祭り参加事業（3名を派遣）、大連市物流協会視察団受入事業（4名）、大連市旅遊局代表団受入事業（6名）、大連日本商品展覧会参加事業（4名）、大連市外事弁公室代表団受入事業（3名）、舞鶴市青少年レスリング訪問団をナホトカ市へ派遣（選手等14名を受入）、舞鶴市青少年交流訪問団を浦項市へ派遣（19名）、浦項市青少年交流訪問団受入事業（中学生等30名）、ポーツマス市訪問青少年英語研修（市内中高生9名参加）、国際交流員の配置（1名）
住民が取り組む事業				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：舞鶴市

成果指標①	成果指標の目標数値	赤れんがパークの来場者数（平成30年度：50万人）		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	397,167人	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	赤れんがパークにおいて、ブランド力の向上を目的とした複数のイベントプロモーションを実施した結果、目標とする来場者数に向けて順調に上積みすることができた。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	クルーズ客船の寄港回数（平成30年度：20回）		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	8回	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	平成26年度は15回寄港したが、平成27年度は26年度に多数寄港したクルーズ船の寄港がなかったため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	京都舞鶴港発着クルーズ回数（平成30年度：6回）		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	7回	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標数6回に対し、7回の発地・着地となるクルーズがあり目標を上回る回数の発着クルーズがあった。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標④	成果指標の目標数値	コンテナ年間取扱量の充実（平成30年度：15,000TEU）		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	8,620TEU	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	太陽光発電設備などの輸入量が減少したものの、ほぼ前年度並み水準を確保することができた。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標⑤	成果指標の目標数値	舞鶴引揚記念館収蔵資料のユネスコ世界記憶遺産への登録		成果指標の実績値 (27年10月10日時点)	平成27年10月10日登録	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	平成27年10月10日に登録が実現した。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)	—

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：舞鶴市

<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>赤れんが4号棟及び5号棟の整備完了に伴い、赤れんがフェスタをはじめとする様々な仕掛けを施すなど、赤れんがパーク全体の魅力・ブランド力の向上を図り、観光戦略拠点として定着してきた。併せて、舞鶴ブランドの全国的なプロモーション活動や、外国人観光客の誘致を念頭に置いたインバウンド戦略を実施するなど、国内外を問わず積極的な情報発信に努めた。</p> <p>また、大型クルーズ客船の年間寄港回数が減少しているが、京都舞鶴港発着クルーズの回数は目標値を上回っており、本市の人流・物流の拡大に寄与している。</p> <p>さらに、舞鶴引揚記念館収蔵資料が、平成27年10月にユネスコ世界記憶遺産に登録されたが、これは舞鶴記憶遺産ブランドプロモーション事業で行った、舞鶴引揚記念館展示図録の制作や、世界記憶遺産登録推進事業で行った、貴重な資料の保存、活用を目的とした施設のリニューアルや、「引揚事業」、「シベリア抑留」の史実を継承するための教育旅行誘致、各種メディアへの情報発信などに適切に取り組んだことも評価されたものと考え。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>京都府及び一般社団法人舞鶴港振興会と連携の下、効果的なポートセールスの実施等により、一定のコンテナ取扱数の確保を図ることができた。</p>
<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>京都府及び一般社団法人舞鶴港振興会と連携の下、効果的なポートセールスの実施等により、一定のコンテナ取扱数の確保を図ることができた。</p>	
<p>住民の自治意識を高める成果</p>		
<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>近代化遺産である赤れんが倉庫群を中心として、赤れんがパークを一体的に整備するとともに、サマーイルミネーションや冬期のステンドグラスなど、年間を通じて様々な仕掛けを施すことで、観光戦略拠点としての魅力及び機能性を存分に発揮することができた。</p>	
<p>広域的波及成果</p>	<p>「日本海側拠点港」選定を契機とし、京都舞鶴港を関西経済圏における日本海側の人流・物流拠点とするため、既存航路の活性化並びに定期航路の増便等に積極的に取り組んだ結果、平成25年6月、舞鶴－韓国航路の増便（週2便）が実現した。</p>	
<p>行財政改革に資する成果</p>		
<p>その他の成果</p>	<p>姉妹友好都市及び京都舞鶴港における背後圏への人流・物流の拡大を通じて、さらなる信頼関係の構築に寄与することができた。</p> <p>また、ユネスコ世界記憶遺産への登録が実現した。</p>	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。